

会議要録

会議の名称	令和元年度 第3回和光市史編さん委員会
日 時	令和2年1月17日（金） 10:00～10:55
場 所	和光市役所 4階 404会議室
出席者 ※敬称略	【和光市史編さん委員会委員】 委員9名のうち6名が出席 学識経験を有する者（要綱第3条第1項第1号委員） 宮瀧交二、鈴木敏弘、小柳一彦 公募による市民（第4号委員） 佐々木好評、牧田忍 企画部長（第3条第1項本文） 橋本久 【事務局】 [生涯学習課 和光市史編さんプロジェクト・チーム] 【チームリーダー】 茂呂あかね 【チームサブリーダー】 鈴木一郎 【チームメンバー】 石田清、糸野友也、安井翠、坂口由加里 【委託業務受託者】 株式会社 ギョウセイ関東支社 担当2名
傍聴者	0名

1 開会

○事務局より説明・報告

1. 市民参加条例第12条第4項の規定による会議公開及び要点記録による会議録の公開について説明。
2. 和光市史編さん委託事業の契約締結について説明。
3. 以降の議事進行は委員長が行う。

○委員長あいさつ

2 議題

（1）和光市史編さん委員会設置要綱の一部改正についての報告

○事務局

会議資料をもとに下記を説明。

「和光市史編さん委員会設置要綱」について

編さん業務の委託期間が1年先送りとなったことから委員の任期及び要綱の効力を市史完成期限の令和5年3月31日まで改正したことを説明。

○宮瀧委員長

市民のみなさんにとっては市史の完成が1年先延ばしとなったが、編さん委員としては編さんの時間が増えたことになる。より充実した内容にしていきたい。議題第4号は事務

局の今の報告をもって了承でよろしいか。

【委員一同】異議なし。

(2) 和光市史平成版業務委託事業者の決定について

○事務局

会議資料をもとに下記を説明。

- 1 「和光市史平成版編さん業務委託事業者と契約の締結と委託料の支払い」について
- 2 委託業務受託者がプロジェクターを使用し、電子ブックの見本の説明

○宮瀧委員長

昨年11月15日に我々が選定委員となってプレゼンテーション、ヒアリングを実施して委託事業者の選定を行い、業務委託契約が締結された。令和2年度から本格的に作業が始まるということで今日おいでになられている株式会社ぎょうせい関東支社担当者から自己紹介と意気込みなどをお聞かせ願いたい。

○株式会社ぎょうせい関東支社・黒沢

このたび市史編さん事業に携わることとなり大変ありがたく感じている。

自治体史編さんに30数年携わっている。出版社を含め編集に携わる全員の意思疎通や意見がスムーズに通るように、建設的な意見を出し合える環境を作っていくことが重要であると思っている。

本格的な事業は次年度となるが、いただいている基礎資料は読み込みを進めており、次の委員会では各種提案をさせていただければと考えている。精一杯、編さん事業に携わらせていただきたい。

○株式会社ぎょうせい関東支社・槇島

誠心誠意取り組んでいく所存である。

○宮瀧委員長

ぎょうせいさんは全国の自治体史を多く手掛けたキャリアと経験値を生かしてやっていただけるメリットがあるが、和光市には和光市のスタイルがあって、他所ではこのようにやっているとかそのようなことを安易に持ち出されては困ってしまう。和光市には和光市の考えがあって、例えば多少回り道であったとしてもその方が市民のみなさんに有益な場合があったり、あえて工程を増やすなど自治体によって工夫がある。予算内で作業していただかないといけないということもあるが、効率や他の自治体の経験値を優先せず、和光市との仕事は和光市と1対1でやるというような気持ちで一緒にやらせていただきたいと考えている。

私もいくつか経験があるが、1番大変なのは事務局の方々である。例えば執筆者の入稿が遅れたことで精神的に参ってしまう方や不本意な配置転換であったり、執筆する側ある

いは編集する側の不手際がしわ寄せとしていくのは担当の職員の方となる。その辺も含めて私たちが極力そういうことのないように心がけていきたいと思っている。

ぎょうせいさんも先ほども申し上げたが、効率とか他所はこのようだななどの話は一旦棚上げしていただいて和光市史編さんに一から関わっていただけたらと思う。

委員の方で、先ほどの挨拶について何かご意見・ご質問はあるか。

○鈴木委員

今回の和光市史はぎょうせいさんが長年培ってきた経験の中でも新しいタイプの市史だと思う。オーソドックスな市史のイメージとは違って市民が読み易い、わかり易いタイプの平成版が良いだろうということである。平成30年の期間に重きを置いていただきたい。

また考古学の立場から、文化財保護の立場から過去30年間に蓄積してきた発掘調査成果を開発とともに失われた文化財がこれだけあるんだと強調したいと考えている。外環道・区画整理調査の中で失われていった文化財がかなりある。幸い、発掘調査の経験がある牧田委員も入っていただいているのでそういった意見も取り入れていただきたい。

午王山遺跡が国指定となる予定で和光市には非常に重要な考古学的成果がたくさん埋もれていることから、そういった点にできるだけ陽を当てていただきたいと思う。

○小柳委員

委員長からも話しは挙がったが、ぎょうせいさんが市史編さん業務に30年携わってきたという“経験”が逆に怖いという面もある。新たな気持ちでやっていただきたいということと、「平成版」ということで、和光市の平成は大きく変わった30年だと認識している。どのような変化があったのか、表面・裏面など色々な方面から編集していただきたい。

○佐々木委員

和光市の特徴や文化、どのように変わってきたかなど分かりやすい言葉で表現していただきたい。

○牧田委員

伴走するような感じで意見を言い合ったり、一緒にやっていけたらと思っている。

○事務局

電子ブックの見本をぎょうせいさんにご用意していただいている。

→ぎょうせいから現在の作業進捗状況、プロジェクターを使用しての電子ブックの見本やイメージ等について説明。

○宮瀧委員長

新年度の具体的な事業は4月の会議で検討できると考えている。今日は概ね、このような方向でということを知りやすく見せていただいた。

業務委託に関して、委員から他にご意見やご質問はあるか。

○橋本企画部長

和光市は面積的に狭いので事業者であるぎょうせいさんには市内の現場を実際に見て、歩いていただきたい。

○宮瀧委員長

執筆者の方も土地勘を持っていただきたい。

また、市史編さんは今年度から4か年にわたる継続事業である。他市の自治体の編さんで、事務局の担当が途中で変わり編さん業務や進捗状況が滞る状況を経験してきた。本人が望まない限り、人事異動も抑えめにしていきたいと思う。

他に質問が無ければ「和光市史平成版業務委託事業者の決定についての報告」については、了承するという事でよろしいか。

【委員一同】異議なし。

3 その他

○宮瀧委員長

国史跡指定の報道発表があった午王山遺跡について、国指定後のスケジュールやイベントなどの計画について説明をお願いしたい。

○事務局

令和元年11月15日 国の文化審議会から文部科学大臣へ、国の史跡に指定するよう答申を行った旨の報道発表

令和2年2～3月 官報の告示をもって国史跡の正式な指定となる

令和2～3年度 「(仮称)午王山遺跡保存活用計画委員会」を設置し、計画を策定

令和2年秋ごろ 午王山遺跡展示会・講演会の開催

○宮瀧委員長

教育委員会全体で和光市史編さん平成版を作成していることをイベント等で積極的にアピールし、盛り上げて欲しい。また、午王山遺跡について作成した資料等があれば本委員会へ情報提供していただきたい。

その他、ご質問はあるか。

○委員一同

特になし

○事務局

令和２年度当初予算の第１次の内示で業務委託料について確保されている状況である。当初から事業を進められるよう、人員などの体制も整えておきたい。

○宮瀧委員長

事業者側で開催する和光市史編集委員会については私が出席し、編さん委員会の意向を反映するようにやっていきたいと考えている。

市史刊行が令和４年度末となる。状況が刻々と変わっていくとは思いますが、その辺りもうまくリンクして取り込んでいきたい。

他にあるか。

○委員一同

特になし

○株式会社ぎょうせい関東支社・榎島

資料を基に監修者佐々木寛司氏の紹介。

○事務局

今回の会議は令和２年４月１７日（金）１３：００からとさせていただきたい。

目次案、全体構成、本文のレイアウト案などを提案していただき、それに沿って具体的な編集の検討を行いたい。

また、編集委員会委員長は和光市史編さん委員会委員として委嘱され、会議に出席していただく。事業者であるぎょうせいさんには、今後の委員会にも出席をお願いしたい。

なお、次回から文化財保護委員会の田中明委員長にも編さん委員会に加わっていただき、市域の歴史と民俗に関する知識と経験を市史編さんに活かしていただきたいと考えている。

○宮瀧委員長

次の和光市史編さん委員会は４月１７日（金）１３：００から開催とする。

今回の会議以降、市史編さんに関する具体的な内容を委員会で検討していくこととなる。我々委員は、大局で物事を考えて判断し、委員それぞれの日頃の立場からのご意見を集約し、市史の編さんに当たりたいと考えている。

４ 閉 会